

三重の

生きもの大より

第26号



和名：カブトムシ
 学名：*Allomyrina dichotoma dichotoma*
 英名：Japanese rhinoceros beetle

立派な角、丈夫な足、硬い体。少年たちが憧れた昆虫の王様といえば、やっぱりカブトムシでしょうか。オス同士が闘う様子は迫力があり、角で相手を投げ飛ばすその力強さに思わず「カッコいいなあ！」と言ってしまうほどです。

カブトムシはコガネムシ科の甲虫で、里山などの雑木林が主な生息場所です。寿命は約1年で、秋に卵から孵化した幼虫は土の中で腐葉土や木屑を食べて育ち、初夏になって地上に出るとクヌギやナラなどの樹液を吸って生活します。オスの立派な角は、この樹液をめぐる闘争の中で使われ、樹液を独占したオスはたくさんのメスにも出会えるという訳です。

しかし最近では、日本のカブトムシよりももっと立派な角を持った外国産のカブトムシがデパートやホームセンターなどで売られ、子どもたちはもちろんのことお父さんにも人気とか。雑木林で日本のカブトムシを追っかけるなんて、時代遅れなんではなかね？ ちょっぴり寂しい気もしますが…

A.K.

志摩半島野生動物研究会